



諏訪市立上諏訪中学校

令和7年度 学校要覧

自らを拓き 未来を生きる



自分の未来を描き、自ら進む道を切り開いていく上諏訪中学校

今年も夢と希望に溢れる待望の春がやってきました。新たに49名の新入生を迎え、全校生徒158名で、さわやかに元気よくスタートを切り、仲間と共に楽しく、充実した日々を送っています。

世界へ目を転じると、異常気象や大規模災害、環境問題、戦争や紛争など国際問題は尽きません。しかし、子供たちがこれから向かっていく未来は、夢や希望に溢れる明るい世の中にしたいものです。そのために中学生時代には、未来を力強く生き抜いていく力、自分の未来を創り出していく力を身につけたいと考えます。決められたことをただこなすだけの生き方でなく、大切な知識や技能を身につけながら、問いを持ち、情報を集め、考え悩み、適切に判断していくことを通して、友や仲間、地域や世界と連携してよりよく生きていく主体的な生き方です。上諏訪中学校での生活の中でさらに学力を伸ばし、生きる力を蓄え、人を愛し、大切に思う心情を育てながら、たくましく、それでいて優しい大人となってくれと心から期待しています。

上諏訪中学校の伝統を受け継ぎながら、生徒、教師、保護者、そして地域も、皆で力を合わせて「いい学校」を創っていきましょう。

学校長 牛越 雅紀

令和7年度校友会スローガンは「和笑進化」です。誰もが笑って過ごせる学校にするために学年を越えた交流を増やしていきます。また進化の1年として、一人ひとりが去年よりもレベルアップできるようにしたいです。全校で過ごしやすい学校を創りあげていきます。そして、諏訪湖清掃やニッコウキスゲの植栽をはじめ、地域貢献になるような活動も行っていきたいと思います。

校友会長 3年 岩原 煌汰

《学校の沿革》

昭和22年4月
学制改革に伴い旧高島
国民学校跡に設置
平成元年2月
新校舎竣工式
平成14年4月
二期制導入
平成28年3月
新体育館竣工式
平成29年
70周年記念事業を実施
令和3年4月
上諏訪小学校との併設型
小中一貫教育校の開始

《全校生徒数158名》

1学年 49名
2学年 59名
3学年 50名



学校教育目標

自らを拓き 未来を生きる

※施設併設型小中一貫教育校として、上諏訪小学校と共通の目標を設定しています。

校訓

真理の追求
自主自律
質実剛健

※生徒が判断し行動することを大切にしてきた
本校伝統の精神です。



目指す学校像

自治の気風にあふれ、生徒が判断し、行動する機会が多い学校

高い人権意識をもち、自他を尊重し協働しながら明朗な生活を創造できる学校

挑戦

目的をもってやってみる

重点1 楽しい授業の創造

一人になって取り組む



いっしょに取り組む



互いに深め合う

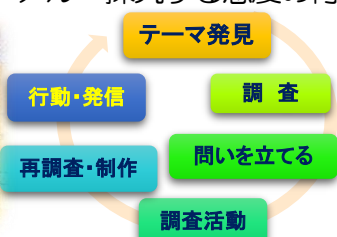


できた！わかった！
楽しい！もっと！

とことん取り組む「探究の学び」の実現を！

重点2 探究的な学びの推進・充実

てながおか
「手長丘プロジェクト」「総合的な学習の時間」
プロジェクトのリニューアル・探究する態度の育成



個の学び、そして
仲間との協働性

重点3 上中アフタースクール・輝きタイム

校友会活動の充実、そして発展

人とつながり自分を豊かにする“輝きタイム”

部活動

上中サークル

生徒による自主サークル活動。立ち上げから、募集の広報、宣伝、運営を生徒が行う。文化祭で発表！

校友会活動

教科・教育相談
行事に関わる活動
＜学校・学年＞
その他 教科学習等

状況を掴み、共に考え、行動する・発信する生徒 習得した知識・技能をフル活用して探究する生徒

継続

つながる・守る・続ける

重点1

あいさつ日本一の学校

「一日の始まりは挨拶から」

良好な人間関係を築く力を育む学校に。先輩方が目指してきた、その思いを受け継ぎながら、素敵な挨拶ができる学校に！



重点2 地域貢献 役に立つ人になろう！

上中伝統の校友会活動の さらなる発展を目指そう

校友会スローガン「和笑進化」
世の中を見つめ、自分のできることを考えて行動
「感じて動く」「気づいて取り組む」「協力」

ボランティア活動を守り、さらに充実を！

- ・諏訪湖清掃
- ・ニコウキスグの植栽
- ・子ども食堂の参画
- ・読み聞かせ活動
- ・空き缶回収 等



重点3 キャリア教育の充実

上中キャリアメッセ（2年）

地域企業の魅力・人と出会い、
地域の方々のキャリア（生き方）や「働くとは」を学ぶキャリア教育の一環。生徒が事業者選定から企画、運営に主体的に取り組む。



キャリアデザイン構築（ものづくり科）

「人のために」を中心に据え、相手意識に立つ展開

重点4 人権教育の充実

生徒憲章・人権宣言

道徳授業の充実 心を耕す 人づくり 人権感覚を磨く
よりよく判断し、正しい行動ができる生徒の育成

伝統を引き継ぎ、発展・進化させられる生徒 人の痛みがわかる生徒 協働して力強く歩む生徒

醸成

じっくり しっかり

重点1 小中一貫教育の

さらなる充実！

学びやすい学校・ゆるやかな接続
交流を基本とした人間関係の構築
生徒も教師も



交流給食

中学生の読み聞かせ

重点2 サポート体制の充実

学年担任制

複数の職員を「学年担任」として配置。
多くの目で生徒を見つめチームで
生徒のサポートやケアにあたりま
す。学級の窓口担当だけでなくい
でも、どの職員とも相談できます。

相談体制の確立・拡充

定期的に「心の支援会議」開催
自分のペースで学ぶ相談 F 学級

特別支援教育・ インクルーシブ教育を推進

チーム支援の確立 皆で支援
個に寄せた温かな支援

重点3

よりよい人間関係の構築

日々の生活でつながる

- ・挨拶
- ・感謝
- ・尊敬

行事でつながる

- ・協力
- ・感動
- ・絆

保護者懇談会 年2回

- ・懇談と傾聴
- ・一緒に歩む

連携し支え合って

力を発揮する教師集団

- ・挨拶
- ・感謝
- ・尊敬
- ・外部機関と連携、協力

中学校時代は「自分探し」の時代 なりたい自分に向かってじっくりと取り組む生徒